学校番号	２１４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）理科基礎演習 （生物基礎）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	i 版「生物基礎」（啓林館）						
副教材等	大学入試共通テスト対策 チェック＆演習 生物基礎 2026 新課程(数研出版) 2027 共通テスト対策［実力完成］直前演習 生物基礎(ベネッセコーポレーション) 学習者用デジタル教科書＋問題集セット「生物基礎セット」（啓林館・Libry）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した，生物や生物現象，生物多様性に関わる基礎的な内容を，日常生活や社会と関連づけながら理解するとともに，見通しをもって観察，実験を主体的に行うことなどを通して，科学的に探究する力と態度を身につけ,応用していく力を磨く科目です。生物や生命現象と日常生活や社会との関わりを考えられるようになってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物や生命現象，生物多様性に関わり，生物や生命現象，生物多様性を科学的に探究するために必要な知識や資質，能力等を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，得られた結果を分析して解釈し、表現することができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に生物や生命現象，生物多様性に関わり，探究しようと行動できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会と関連の深い生物共通の特徴や生命現象，生物多様性について概念や原理・法則を体系的に理解している。また、これらを科学的に探究するために行う観察,実験,実習に関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	生物共通の特徴や生命現象，生物多様性から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験実習を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物共通の特徴や生命現象，生物多様性に主体的に関わり，粘り強く考える，活用する，見通しをもつ，振り返る，など、科学的に探究しようとしている。また，生命を尊重し，自然環境 の保全に寄与しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の特徴	a: 遺伝子の発現など生物に共通すること，異なることについて整理し，確かな知識を身に付けている。 b:生物の特徴・遺伝子の発現について，観察・実験などを通じて，科学的に考察・表現しすることができるようになる。また，科学的に探究する能力を身につけている。 c:生物の特徴・遺伝子の発現に関心を持つとともに，それらの知識や技能を活用しようとする。	小ﾃｽﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ﾚﾎﾟｰﾄ課題	振り返りｼｰﾄ ﾉｰﾄ 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	遺伝子とその働き	遺伝子とその働き				
2学期	ヒトの体の調節	神経系と内分泌系による調節 免疫	a:恒常性や免疫，植生の遷移を理解し，確かな知識を身に付けている。 b:ヒトや植物が非生物的環境の変化にどのように反応し，体内環境の維持を行っているのか，観察・実験などを通じて，科学的に考察・表現しすることができるようになる。また，科学的に探究する能力を身につけている。 c:ヒトの体，植物，生態系に関心を持つとともに，それらの知識や技能を活用している。	小ﾃｽﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ﾚﾎﾟｰﾄ課題	振り返りｼｰﾄ ﾉｰﾄ 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	生物の多様性と生態系	植生と遷移 生態系とその保全				
3学期	実践演習	生物の特徴 遺伝子とその働き ヒトの体の調節 生物の多様性と生態系	a:生物基礎で学んだすべての内容について横断的に理解し，確かな知識を身に付けている。 b:生物基礎で学んだ知識を活用し，人類の持つ課題に対して，科学的に考察・表現することができるようになる。 C 生命科学について関心をもつとともに，それらの知識や技能を活用している。	小ﾃｽﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ﾚﾎﾟｰﾄ課題	振り返りｼｰﾄ ﾉｰﾄ 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　進度は予定なので，変更されることもある。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度